

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

子どもとその親がいきいきと生活し、子育てが楽しいと感じられるまち・江別市を目指します。

また、地域の人材や活動が活性化するように、子育てのもう一つの主役としての地域が、子育てを支援できるような地域社会づくりを目指します。

そして、子どもは「江別に生まれ育ってよかった」、親は「江別で子育てして安心」と思えるまちを実現するため、家庭はもとより、地域、企業、行政など、社会全体が協力して、江別市で子どもを生き育てることが喜びとなるまちを目指します。

そこで、本計画の基本理念は、当初（前期）計画の理念を今後も継承し、以下の通り定めます。

みんなで協力、安心子育てのまち・えべつ

2 基本的な視点

本計画の策定にあたっては、次の4つの視点を基本とします。

（1）子どもの視点

すべての子どもの生命と人権が尊重され、幸せに育つことが保障されるよう、子どもの視点に立ち、健全育成のための取り組みを進めます。

（2）親の視点

親が心身ともにゆとりをもって子育てができる視点に立った環境づくりを進めます。

また、仕事と子育てが両立するための環境を整備していきます。

さらに、子育ての基本である親子の健康を一体のものとして確保する取り組みを進めます。

（3）地域からの視点

子育ての基本は家庭にあります。地域社会の一員である子どもを健やかに育てるために、家庭はもとより地域が子育てに重要な役割を担う必要があります。

地域住民がもつ英知と行動力を地域の子育てに活用するため、住民が自ら進んで行動し活動できるような地域社会による支援の仕組みづくりを進めます。

（4）社会全体で支援する視点

子ども一人ひとりが大切な江別市民であるという認識のもとで、家庭、地域、企業、行政などが、それぞれの役割を担いながら、社会全体で子育てを支援する視点に立った取り組みを進めます。

また、子育てしやすい環境づくりを視点とした福祉のまちづくりを進めます。

3 基本目標

本計画の基本理念の実現に向けて、前述の基本的な4つの視点をもとに次の5つの基本目標を掲げ、総合的に施策を展開します。

(1) 「子どもが笑顔で育つ」まちづくり

子どもが、いつも笑顔で暮らし、調和のとれた人格として成長するように、学校を始め、家庭や地域などの教育環境の整備を進めます。

また、子どもの持つ権利が最大限に尊重される社会の実現と、子どもの事故防止、被害防止などの推進、思春期の子どもたちの健全な発達など、子どもが安心して生活できるまちを目指します。

(2) 「安心して子どもを生み育てることができる」まちづくり

子どもを育てる親が、仕事と家庭生活を両立するための環境整備として、男女が協力して子どもを育てられる環境を、企業と連携しながら整備していくとともに、心身ともにゆとりを持って子育てできるように、子育て情報の提供や育児相談の充実など、子育て中の親のストレスの軽減に努めます。

また、妊娠、出産から、子どもの病気への対応まで、医療や相談機能の充実を図り、いざというときに安心できる体制を整備します。

(3) 「地域で子どもを育てる」まちづくり

子どもや親の身近な生活の場である地域で、子どもを温かく見守り、育てていくことができるよう、子育て経験者、専門家、地域住民などによる子育て支援のネットワークづくりを進めます。

また、地域活動や関係機関との協力により、子どもの周囲の有害環境対策や、子どもを見守る仕組みづくりを行うとともに、子育てに関する知識と情報の共有を図ります。

(4) 「子どもと親、地域の子育てを支援する」まちづくり

多様な子育てニーズに対応するように、子育ての主役である子ども、親、地域を支援するために、地域の社会資源を活用して保育サービスなどの充実を図ります。

また、児童館や公民館、学校の余裕教室といった公共施設などの利活用による子どもの居場所づくりを進めるとともに、障がいのある子どもやより支援が必要である家庭の子どもなど、きめ細やかな対応に努めます。

(5) 「子育て家庭が快適に暮らせる」まちづくり

子育て家庭が快適に暮らせるよう、子育てしやすい住環境の整備を目指します。

また、公共空間のバリアフリー化など、公共施設の整備を中心とした子育てしやすいまちづくりを目指します。